

大阪湾漁場環境速報

2020年11月11日発行
兵庫のり研究所

この海域全域で大型珪藻コシノディスカスが多く確認されています。窒素は陸水等の影響が見られた神戸空港東から湾奥部・大阪府沿岸域にかけては高い値となっていますが、それ以外においては概ね2 μg-at/L前後でした。

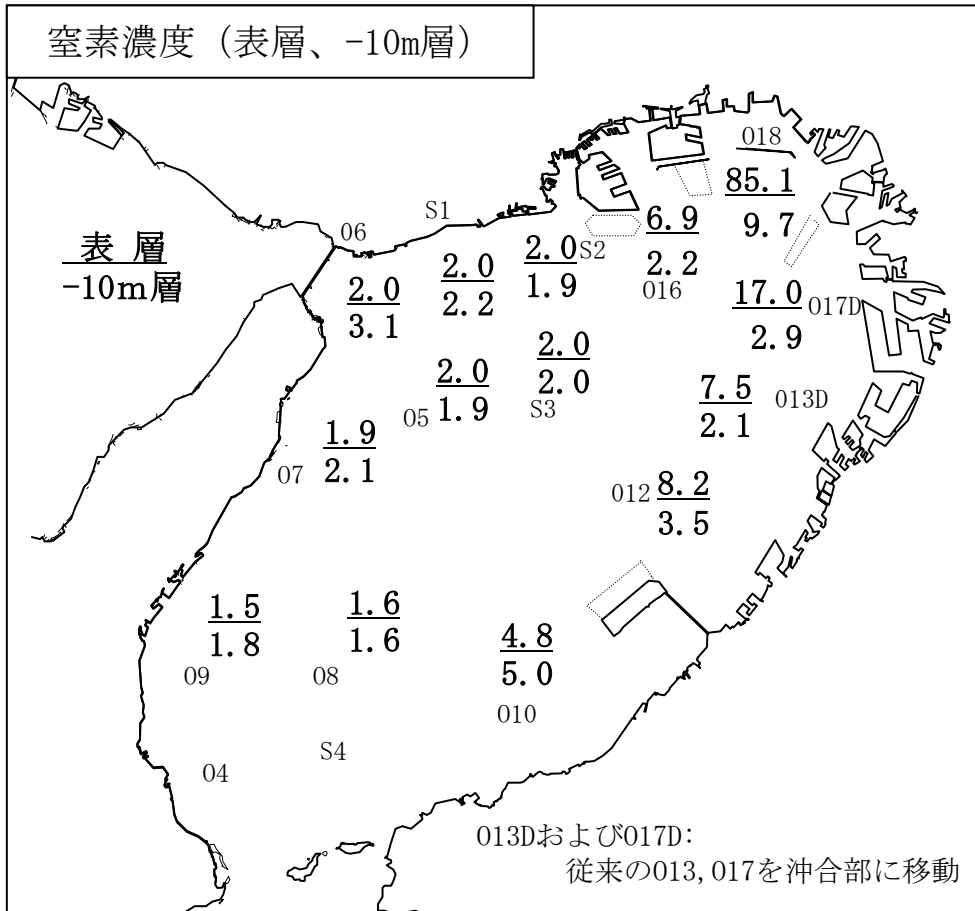
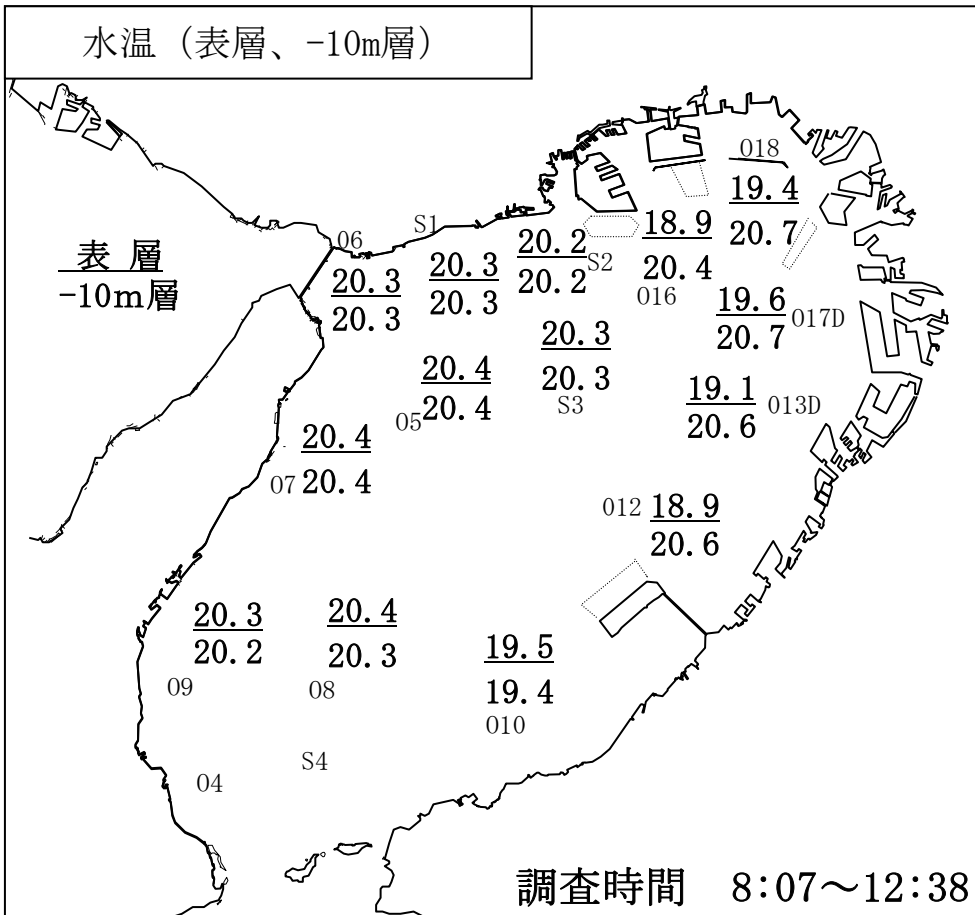
(水温) 表層は湾内概ね19~20℃台で、平均20.0℃。平年比約0.9℃低い。-10m層は平均20.3℃(平年比-1.0℃)。

(塩分) 表層平均31.79psu(平年 31.13)。-10m層平均32.05psu(平年 32.03)。

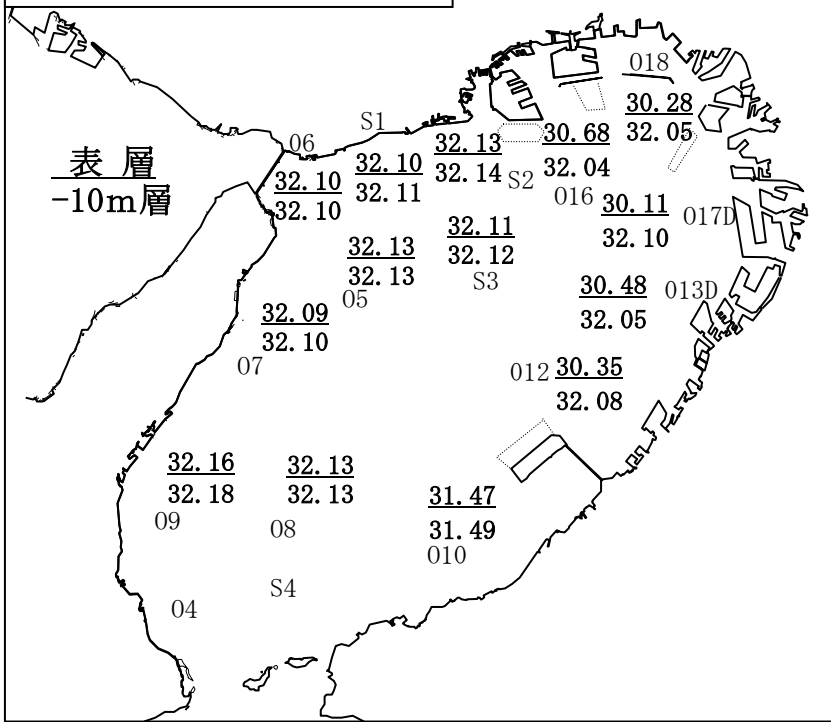
(栄養塩、他) 表層の窒素は平均3.2 μg-at/L、リンは平均0.42 μg-at/L。窒素は平年(7.2 μg-at/L)よりかなり低くリンは平年(0.58 μg-at/L)よりやや低い。-10m層(平均)は、窒素2.5 μg-at/L、リン0.41 μg-at/Lで表層よりやや低い。神戸空港東から湾奥・岸和田にかけては表層の水温及び塩分が低く、表層の窒素は概ね7 μg-at/L以上ありコシノディスカスも比較的少ないが、-10m層では発生量の多い地点が見られる。それ以外の湾奥から湾西部の海域では表層及び-10m層ともにコシノディスカスが多く、窒素は1.5~2.0 μg-at/L前半と全般に低い状況が続いている。

上段 (今回値)	2020年11月10日調査
中段 (昨年値)	2019年11月13日調査
下段 (平年値)	11月上旬

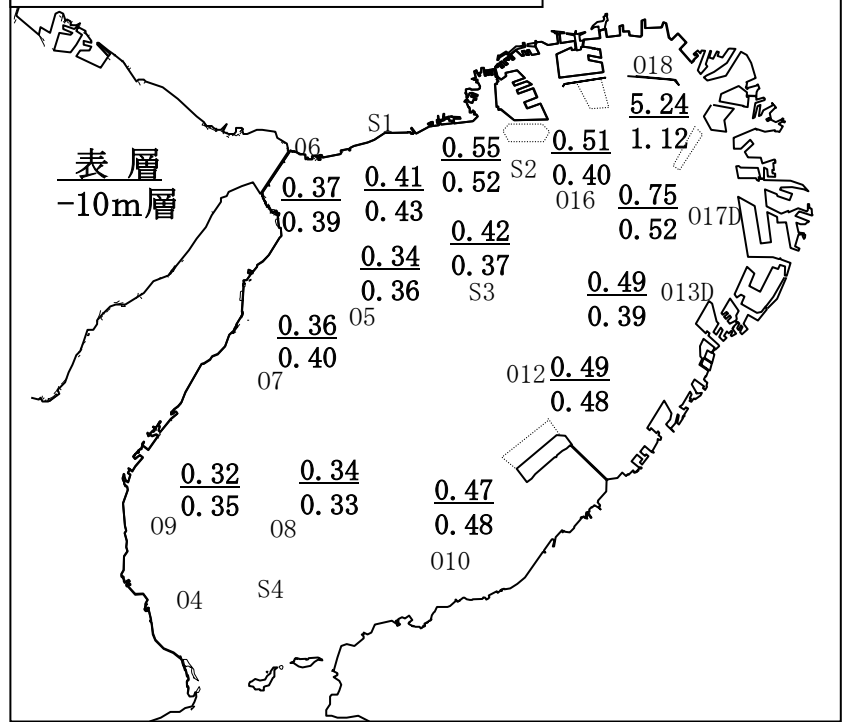
調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	リン酸 (μg-at/L)
04	21.7	32.50	4.9	0.45
	20.4	32.13	2.0	0.34
05	21.0	31.95	5.7	0.63
	21.5	31.82	6.4	0.58
06	20.3	32.10	2.0	0.37
	21.0	31.98	5.9	0.65
07	21.0	31.12	7.0	0.59
	20.4	32.09	1.9	0.36
08	21.1	31.96	6.0	0.66
	21.5	31.89	6.3	0.82
09	20.4	32.13	1.6	0.34
	21.1	32.30	5.3	0.60
10	21.5	32.07	5.6	0.53
	20.3	32.16	1.5	0.32
12	21.1	32.27	5.2	0.60
	21.4	32.05	5.6	0.52
13D	19.5	31.47	4.8	0.47
	20.5	31.62	6.8	0.71
16	20.8	31.59	6.1	0.54
	18.9	30.35	8.2	0.49
17D	20.3	31.46	4.4	0.52
	20.6	31.17	5.6	0.46
18	19.1	30.48	7.5	0.49
	20.0	30.96	7.8	0.59
S1	20.6	30.90	7.0	0.43
	18.9	30.68	6.9	0.51
S2	19.7	31.00	7.1	0.53
	20.0	29.31	12.4	0.63
S3	19.6	30.11	17.0	0.75
	19.3	27.39	32.5	1.11
S4	20.3	28.39	24.0	0.92
	19.4	30.28	85.1	5.24
013Dおよび017D	19.7	27.73	29.1	1.64
	19.9	26.84	27.1	1.19
016	20.3	32.10	2.0	0.41
	21.0	31.96	5.9	0.63
017D	20.7	30.45	8.0	0.56
	20.2	32.13	2.0	0.55
018	20.1	31.37	6.9	0.56
	20.1	29.55	10.1	0.58
S1	20.3	32.11	2.0	0.42
	20.8	31.88	6.3	0.62
S2	21.2	31.46	6.5	0.57
	21.7	32.54	4.6	0.47
S3				
S4				



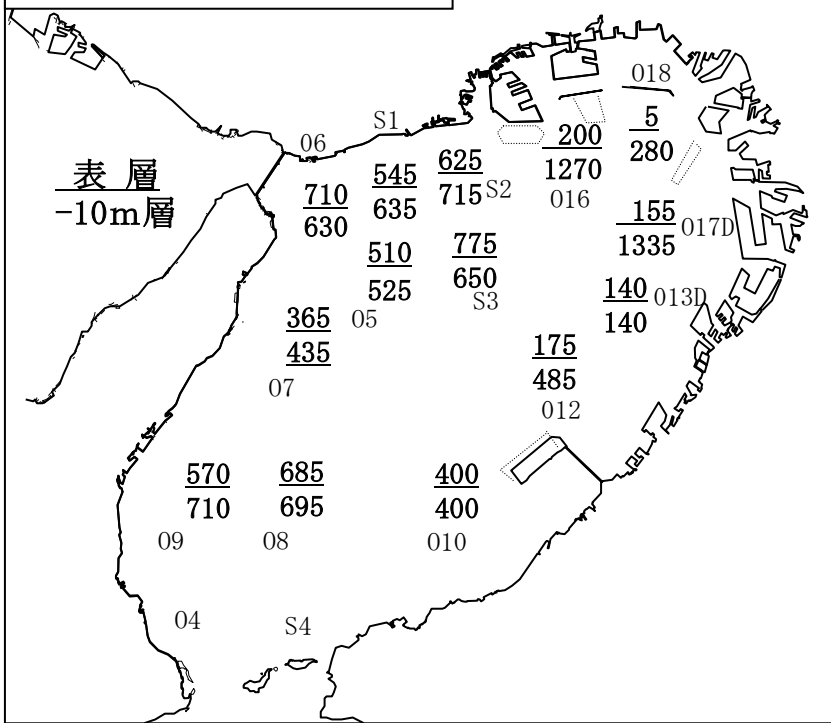
塩分 (表層、-10m層)



リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスカス (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)

